

■ 関大生が“授業”を企画！？ 学生が学びたいこととは ■
学生提案科目「地域の防災を考える」を開講
～ 地域住民と一緒に、専門家による講義とフィールドワークで防災を学ぶ ～

関西大学では、8月4日（火）から7日（金）までの4日間、千里山キャンパスにて、学生提案科目「地域の防災を考える」を下記のとおり開講します。

本学では、学生自らが学びたいことを考え、学生の創意による講義開講を目的に、学生組織「科目提案学生委員会」を設置しています。講義概要・講義計画・担任者等を同委員会が立案し、開設されるのが「学生提案科目」（2単位）であり、2011年度から毎学期2～3科目が開講されています。

今回の科目を企画した学生らは、本学の長期ビジョン（将来像）に掲げている「考動力」（自ら考え、積極的に行動する力）を習得するために、知識と行動が連携する授業でありたいと考えました。そこで、いつ発生してもおかしくない災害から自らの生命・身体を守る術を学ばなければならないこと、また、普段は関わりの少ない地域の方々と交流し、大学周辺の現状を理解するチャンスであるとの思いから、本学が立地する地域（吹田市千二地区）の防災について近隣住民と学生が一体となって取り組む授業を作りあげました。

具体的には、講義パート（8/4・5）で地域防災に関する基礎的な知識を専門家による講義にて習得し、フィールドワークパート（8/6・7）で実際に地域の方々と協働して災害図上訓練の具体的な手法のひとつであるDIG（Disaster Imagination Game）を行う、4日間の集中講義形式となっています。現場を調査して歩くことで、自らが通う大学近辺の地域防災への関心を高めるとともに、地域の方々と交わることによる地域理解や、学生が主体的に活動する意識・姿勢を育成することを目的としています。なお、2011年に学生提案科目が開始されて以降、「防災」をテーマにした授業、地域住民が参画する授業は初めてとなります。

つきましては、講義やフィールドワークの撮影、科目提案学生や担当教員へのインタビューも可能ですので、取材についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 8月4日（火）～7日（金） ※各日のタイムスケジュールは別紙をご参照ください
- 2 場 所 関西大学千里山キャンパス 第2学舎2号館C204教室
大阪府吹田市山手町3-3-35（阪急千里線「関大前」駅北出口から徒歩約10分）
※8月6日（木）10：40～14：30はキャンパス近辺にてフィールドワークを予定
- 3 内 容 「地域の防災を考える」をテーマに、本学社会安全学部教員をはじめとした専門家による講義とフィールドワークで構成された4日間の集中講義で、本学が立地する地域（吹田市千二地区）の防災を近隣住民と学生が一体となって考えていきます。
※詳細は別紙をご参照ください

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■学生提案科目「地域の防災を考える」講義概要

- 1 授業概要 近年の自然災害を機に、地域の防災意識が高まりつつあります。一方では、大学のみの座学で「社会を知る」ことは難しく、大学教育としてはさらなるアクティブラーニング（能動的学び）が求められています。そこで本授業は、吹田市と締結された「災害に強いまちづくりにおける連携協定」に基づき、関西大学が立地する地域の防災を、地域住民と学生が一体となって考えていきます。4日間の集中講義は、講義パートとフィールドワークパートに区分されており、まずは地域防災に関して基礎的な知識を専門家による講義にて獲得した後、実際に地域の方々と協働で災害図上訓練の具体的な手法のひとつであるDIG（Disaster Imagination Game）を行います。現場を調査して歩くことで、自ら通学する大学近辺の地域防災の関心を高めるとともに、吹田市および大学近辺地域の方々との相互関係の中で、地域理解を通じて学生自ら主体的に活動に参加する態度を育成することを目的とします。
- 2 到達目標
 - ・地域防災の現状について多様な方面から説明することができる
 - ・ハザードマップの意味を理解し、DIGを実際に作成することができる
 - ・地域の方々のご意見を傾聴し、内容をまとめることができる
 - ・授業での活動を的確に振り返り（モニタリング）、改善案を構築できる（コントロール）
- 3 スケジュール
 - 8月4日（火） 10：40 イン트로ダクション
13：00 防災全般について学ぶ（講師：常葉大学社会環境学部 小村隆史准教授）
16：20 DIGについて学ぶ（講師：同上）
 - 8月5日（水） 10：40 関西大学が行う防災について学ぶ（講師：関西大学総務課 中村匡志課長）
13：00 吹田市が行う防災について学ぶ（講師：吹田市危機管理室 竹嶋秀人総括参事）
14：40 翌日のDIGに向けての準備（学生のみ）
 - 8月6日（木） 9：00 講義の振り返り（学生による発表）
10：40 フィールドワーク（6つの班・地域に分かれて現場を調査）
14：40 DIG（講師：関西大学社会安全学部 越山健治准教授）
 - 8月7日（金） 9：00 地図をまとめる（学生のみ）
13：00 プレゼンテーション（地域住民に向けた発表・評価）、まとめ
- 4 場 所 関西大学千里山キャンパス 第2学舎2号館C204教室
大阪府吹田市山手町3-3-35（阪急千里線「関大前」駅北出口から徒歩約10分）
※8月6日（木）10：40～14：30はキャンパス近辺にてフィールドワークを予定
- 5 受 講 者 本学学生・地域住民および受講を希望する一般の方
- 6 災害図上訓練『DIG』（Disaster Imagination Game）について
防災について学ぶ手段のひとつとして、地図上で災害時の様子や動き方をシミュレーションする手法のこと。地図と地図の上にかける透明シートに、災害発生時に危険が予測される地帯または事態を、項目ごとに指定した色のペンで書き込んでいくことで、ハザードマップの役割を果たします。また、避難経路、避難場所、対策や連携について、参加者の間で共有することが可能です。問題を可視化できること、ゲーム感覚で手軽にできること、安価でできること、参加者のレベルに応じて地域の問題検討から実際の防災訓練まで幅広く応用できることがDIGの特徴です。
- 7 他の学生提案科目（ご参考）
 - ・関大生の私にできること～被災地（大槌町）に向き合う～（2013～2015年度春学期）
 - ・学内留学ノススメ（2013～2015年度秋学期）
 - ・恋する学問（2015年度秋学期）
 - ・“みず”から育てる関大ブランド（2012～2013年度春学期） など